

森づくりを支える市民ボランティアと意見交換

～JICA 研修員が帯広の森の構想と市民の参画を学ぶ～

日頃より、弊機構の広報にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当センターでは、9月13日より、アジア航測株式会社様など関係者のご協力により、開発途上国の公的機関の森林管理官らを対象とし、地域住民参加型の持続的な森林管理施策の推進を目標として、下記の研修を実施しています。

10月4日には下記の通り「帯広の森はぐくむ」にて市民ボランティアとの討論会を予定しております。10名のJICA研修員が帯広の森の構想を学び、保全・育成・管理に取り組む市民ボランティアと意見交換を行います。

1970年代に発足し、100年後、200年後を見据えて多くの市民と共に今なお作られ続けている帯広の森の構想と活動を世界のモデルとしてJICA研修員が学ぶ様子を広く地域のみなさまに知っていただきたく、御社の取材につきご検討の程宜しくお願いいたします。

記

研 修 名： 地域住民の参加による持続的な森林管理

研修員構成： フィリピン、東ティモール、ベトナム、ネパール、ソロモン、マラウイ、ウガンダ、カメルーン、コンゴ民主共和国、ボスニア・ヘルツェゴビナ（各1名）計10名

研修期間： 2023年9月13日（水）～11月22日（水）

研修言語： 英語（英語通訳つき）

【討論】10月4日（水）14:30～16:30 帯広の森について研修員との討論会

（帯広の森でボランティア活動を行っている方々との意見交換）

場所： 帯広の森はぐくむ（帯広市南町南9線49番地1）

※取材可能な場合は、取材日前日正午までに下記までご連絡ください。

講義時間の前後で取材対応いたします。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 北海道センター（帯広）道東業務課 広報窓口：松本 本件担当：西垣（にしがき） TEL：0155-35-1210 E-mail： obihiro_event@jica.go.jp

以上